

“共生社会”を考える

校長 水戸 巖

6月に加え、10月は新潟県全体で「いじめ見逃しゼロ強調月間」と位置づけ、いじめに対する啓発活動等に取り組んでいます。いじめは、「違いを排除しようとするところから生まれる」と言われています。西中が掲げる“自立・共生・貢献”、中でも“共生”について意識することがいじめの問題を考える上でもキーワードになるのではないかと考えています。

そこで、10月の全校朝会では、“共生”にスポットを当てて生徒たちに話をしました。以下の話題です。

- 東京パラリンピックトライアスロン女子代表の谷真海さんが投稿した「みんなちがってみんないい」と題した写真が話題となりました。選手村の横断歩道を7人の選手が歩くショットで、車いすや義足を着ける選手、片腕がない選手、松葉杖をつく選手など、身体的な特徴もさまざま。パラリンピックの多様性を見事に表現した1枚となっています。
- 東京オリンピック・パラリンピックのエンブレムのデザイン。形の違う四角形は国や文化・思想などの違いを示しています。そして、その四角形を調和よく組み合わせることで、違いはあってもそれらを超えてつながり合うという「多様性と調和」のメッセージが込められている。オリンピック・パラリンピックが多様性を認め合い、つながる世界を目指す場であることを示しています。
- 東京オリンピック・パラリンピックでも話題となったピクトグラム。トイレや非常口の表示など身近なものです。これも言葉が通じなくても、国境や年代を超えて、誰が見ても分かるようにと考案されたものです。
- コンビニの弁当やファミリーレストランのメニューでもおなじみの「ミックスプレート」。もともとは、ハワイのオーソドックスな食文化の一つ。韓国の焼肉やキムチ、ポルトガルのソーセージ、中国の酢豚などが仲良く並んでいます。これは、かつてサトウキビ畑等で働いていた日系移民が昼食に持っていた弁当に、他の諸国の移民の人々が興味を示し、フィリピンや中国など他の国から働きに来ていた人たちとおかずを分け合い、一つの皿（プレート）にそれぞれのおかずを一品ずつのせたのが始まりとのこと。

社会科の教科書には“多文化共生”という言葉が多く出てきます。学ぶ材料はたくさんありますね。これらを紹介し、違いを乗り越え、人々がどう共生していくのかを考えていこう、行動に移そうと締めくくりました。

そしてもう一つ。いじめにあって苦しい、せつない……。そんな時は……。

今、世界的に注目されている絵本があります。『ぼく モグラ キツネ 馬』（チャーリー・マッケジー著／飛鳥新社）です。こんなシーンがあります。

“いままでにあなたがいったなかで、いちばんゆうかなことばは？” ぼくがたずねると、馬は答えた。“たすけて” “いちばん強かったのはいつ？” “弱さをみせることができたとき”

生徒たちに、この場面を紹介しました。この絵本のメッセージ、受け止めてほしいと願っています。

いじめ防止基本方針の改定作業を進めています

昨年、「新潟県いじめ防止条例」が制定され、今年7月に「新潟県いじめ防止基本方針」が改定されました。見附市においても先日、「見附市いじめ防止基本方針」が改定されたところです。

これを受け、西中においても現在「西中学校いじめ防止基本方針」の改定作業を進めています。10月21日に西中のコミュニティスクール学校運営協議会を予定しており、この場でも目を通していただき、決定する予定です。決まりましたら、ホームページでお示しいたします。よろしくお願いいたします。

合唱コンクールについて

10月31日（日）にアルカディアで合唱コンクールを実施します。体育祭直後に生徒で組織する合唱コンクール実行委員会が立ち上がり、準備を進めるとともに、来週14日（木）からは放課後等を利用した学級練習がスタートします。

各学級の実行委員は、「終わるときにはクラスの団結も深まりいい合唱ができたねと言い合えるように頑張りたい」「歌の完成度を高めていく中で、絆を深めていきたい」「結果も大事だけど、歌を楽しみながらみんなとともに頑張りたい」などと意欲に燃えています。

なお、地域の皆様の参観は、新型コロナウイルスへの対応により今年度もなしといたします。保護者の皆様については、現時点では何らかの制限を設ける形で参観いただけるようにと考えています。感染状況や会場の都合、感染対策を吟味し、正式な案内を2週間前を目途に配付する予定にしています。よろしくお願いいたします。



合唱コンクール実行委員会の様子

科学研究発表会が行われました

10月6日（水）に中央公民館で科学研究発表会が行われ、西中からは以下の2名の生徒が発表に臨みました。2名とも研究の動機や仮説、検証方法、考察が的確にまとめられ、また、発表態度も声の大きさ、速さ等、堂々としており立派でした。結果、**■**さんが市の代表として、県の「いきいきわくわく科学賞」に推薦されることになりました。

氏名	学年	研究題目
■	2	牛乳からプラスチック
■	1	汚れを落とす洗い方



新しいALTが着任しました

10月6日に新しいALTが着任しました。ジャマイカ出身の**■**先生です。校内のTV放送を利用して、挨拶をいただくとともに、代表生徒が英語で歓迎の言葉を述べました。子どもと関わるのが好きで、異文化交流に関心を強く持たれています。ジャマイカのことを教えていただいたり、日本のことを知っていただいたり、おおいに交流し、学んでほしいですね。



子どもたちの活動の様子をホームページ(西中ブログ)でお知らせしています。ご覧ください。